

外来診療案内

【受付時間について】 午前の受付／午前8時40分～午前11時45分(内科は午前11時30分まで)
午後の受付／午後1時00分～午後4時30分
※急患の方は上記以外の時間でも受け付けます。 令和7年10月1日現在

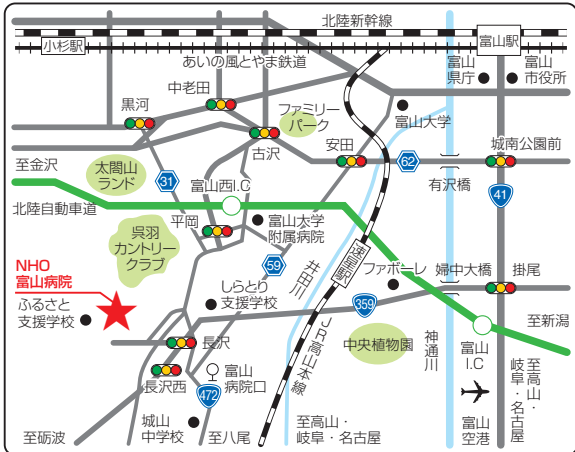
		月	火	水	木	金
小児科 月曜午前・木曜 午前は2名が 担当します	午前	三浦 京谷	粕井 滝澤 (予約制)	嶋	篠崎 診療開始 午前9:00 京谷	三浦
	午後	高井 診療開始 午後1:30	金兼	岡部	谷内	金井
こどもの心外来		(完全予約制)				
アレルギー科	午前	—	—	—	金兼 診療開始 午前9:00	—
	午後	金兼 診療開始 午後2:30	金兼	—	金兼	岡部 診療開始 午後3:00
呼吸器科 (内科)	午前	—	高	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—
外科	午前	柄戸 診療開始 午前9:00	柄戸 診療開始 午前9:00	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—
整形外科 (リハビリテーション科)	午前	—	—	峰松	峰松	峰松
	午後	—	—	峰松	峰松	峰松
内科 (結核)	午前	—	—	—	河合 完全予約制	—
	午後	—	—	—	—	—
受付時間／午前8:40～11:45 午後1:00～4:30						
内科	午前	近	吉田	吉田	河合 診療開始 午前9:00	川端
	午後	森永	—	腰山	荒屋	腰山
受付時間／午前8:40～11:30 午後1:00～4:30						

※その他、事情により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

こどもの心
外来



☆☆ふれあいボランティア募集中☆☆



富山駅前(南口⑥番)より富山地铁/バス25,28系統「国立富山病院」下車すぐ。または21系統「国立富山病院口」下車徒歩15分

当院では、すべての患者さんが安心して療養出来る体制の構築に努めております。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

NHO 富山病院

〒939-2692 富山県富山市婦中町新町3145

【病 院(代)】 TEL: 076-469-2135

FAX: 076-469-5616

【連携室(直)】 TEL: 076-413-5001

FAX: 076-469-3963

HP: <https://toyama.hosp.go.jp>

広報担当: 久保・服部・桐崎・本多・浅沼・荒木・水越



NHO

富山病院ふるさと



「いずみ」通所が
移転しリニューアルしました

外来 看護師長 高橋 久恵

当院は、通所事業を行っています。場所は今まで4階病棟の1画を使用していましたが、令和7年10月1日からは、病院北側の手術棟1階に移転となります。

車で来られた場合でも雨や雪で濡れないように大きな屋根を設置した車寄せがありますので、直接外から「いずみ」通所へ入ることが可能となりました。

通所の窓からは、緑の草木が見えとても環境の良い場所となっています。ベッドから降りて過ごされる方のために、床はクッション素材となっており床暖房も入ります。

医療的ケア児のカフアシストやRTX(排痰を促す機械)を使用しての排痰ケアなど、在宅で行っているケアの継続も行えるようにしています。また、発達支援、日常生活能力・運動機能の向上など多角的に利用者さんの成長のサポートを行い、一日充実した時間を過ごしていただけるような空間を作りたいと思っています。

新しくリニューアルした「いずみ」通所をよろしくお願い致します。



出前講座 ―感染―

感染対策室 副看護師長 感染管理認定看護師 小泉 順平

平素より当院の感染管理にご理解、ご協力頂きましてありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がってから早2年が経ち、コロナ禍以前の生活に戻ってきていますが、手指衛生や人混みでのマスク装着等“基本的な感染対策”は今後も継続していく必要があります。

かねてから認定看護師として、地域貢献を目的に「出前講座」を実施しています。高齢者施設や障害者支援施設、支援学校等多岐に渡るご依頼を頂いております。施設や家庭内で実践する感染対策や、富山県内の発生状況を踏まえた感染症についての講義、吐物の処理方法の演習などを行っています。講義や演習から新たな気づきや自身の行動を振り返る機会となったと好評頂いています。

適切な感染対策行動をとることで、多くの感染症は防ぐことが出来ます。感染管理に関する研修、相談など様々なご要望にお応え出来るよう準備しております。是非ご依頼をお待ちしております。また、病院へ受診や面会に来られる際には、マスクの着用をお願いしています。あわせて、病院各所に設置してあります手指消毒剤も使用して頂き、感染対策にご協力をお願いします。



出前講座 ―摂食嚥下―

副看護師長 摂食・嚥下障害看護認定看護師 黒瀬 潤子

私は摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を取得し活動を始めて5年目になります。活動内容は、主治医や看護師、リハビリスタッフと共に医療チームの一員として、普段の食事摂取状況を観察し、VF（嚥下造影）検査での口腔機能、姿勢、食形態などの摂食機能評価をします。これは、当院入院の患者さんだけでなく、外来患者さんや地域の施設入所者の方にも対応しています。また、当院だけでなく地域の近隣施設や看護学校での講座も行っております。食事は皆さんの生活の中で、楽しみのひとつであると感じています。

一言で「食事介助」といっても、食事形態や食事姿勢、食具の選択、介助の方法、口腔ケアなどいろんなことに分類されます。それを知ってもらうことで、皆さんが安全・安心で食べ続けられるように支えていきたいです。

「患者さんの食事について相談がある」「食事形態があっているのか」「姿勢調整の相談」「〇〇の勉強会をして欲しい」など、いつでもなんでもご依頼ください。皆さんでその方の食べたい思いを守りましょう！

普段は重心病棟の副看護師長として勤務しております。重心看護に長年携わっているので、得意分野でもあります、いつでもお声がけください。



部署自慢コーナー

放射線科

診療放射線技師長 松永 賢一

放射線科は、画像診断を通じてすべての診療科と連携し、正確な診断と迅速な治療方針の決定を支える、現代医療に欠かせない重要な部門です。CT、透視、X線装置など多様なモダリティを駆使し、病変の早期発見や詳細な評価に必要な高精度な画像を提供しています。

これらの検査は、専門的な認定及び資格を有する経験豊富な診療放射線技師によって、安全かつ質の高い水準で検査を行っており、信頼性の高い画像診断が可能です。専門的な知識と読影力、そして高度な技術に裏打ちされたチームワークによって、医療現場を縁の下から支える放射線科の役割に、私たちは大きな誇りを持っています。また、病院の基本理念である「理念は高く、目線は低く」という言葉に込められた優しさと誠実さを胸に、地域の皆さまに安心していただける医療を提供し続けていきます。



第3病棟

第三病棟 看護師長 橋本 陽子

当病棟は主に神経筋難病や慢性呼吸不全の患者さんが療養生活を送っています。病気の進行により体を自由に動かすことができなくなることや、自分の思いを伝えることが難しくなるなど障害の程度は様々です。医師、薬剤師、看護師、リハビリテーションスタッフ、栄養士、MSW(医療ソーシャルワーカー)*などの多職種がチームを組み、障害を抱えて生活している患者さんの日常生活動作や身体機能維持、患者さんの個別性に合ったコミュニケーション方法を取り入れ、患者さん・ご家族の意思決定支援を行っています。

医療チームのスタッフは、患者さん一人ひとりの生きがいや生活の中で大事にしてきたことを大切に、患者さんが自分らしく生きていくために私たちができることは何かを常に考え、日々関わっています。患者さん・ご家族と共に悩み、共に励み、共に喜び、共に笑う、そのようなスタッフが多く働いている病棟です。

※患者やその家族が抱える心理的、社会的、経済的な問題に対して専門的な支援を行う職業

